

令和2年 11月 17日

岐阜県（岐阜市を除く）が行う感染症又は食中毒調査でサルモネラ属菌が検出された方へ

「病原体ゲノム情報を活用した高精度な病原体解析に関する研究」への協力をお願い

岐阜県では県民ニーズを踏まえ行政課題に対応した以下の調査研究を実施します。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【研究の対象】

1999年1月以降に岐阜県（岐阜市を除く）から感染症又は食中毒調査を受け、サルモネラ属菌が検出された方

【研究期間】

令和2年11月17日から令和4年3月31日まで

【研究目的・方法】

細菌感染症の流行動態を把握する上で、分離菌株のゲノム分子疫学情報が極めて有効に活用されつつあります。特に集団発生事例や突発的な感染症流行時においては、迅速かつ正確な菌株の解析が求められております。本研究では、サルモネラ属菌について次世代シーケンサーを用いてゲノム情報を取得し、そのゲノム情報を活用した高精度な病原体解析を実施することで、岐阜県内における過去の感染症流行動態を理解すると同時に、今後発生しうるサルモネラ食中毒の実態把握に活用することを目的としています。

本研究は、国立感染症研究所・病原体ゲノム解析研究センターが中心となって実施している国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）補助事業「病原体ゲノミクスを基盤とした病原体検索システムの利活用に係る研究」令和元年度 - 令和3年度（研究代表者：黒田誠）により実施するものです。

【研究に用いる試料・情報の種類】

1999年以降に岐阜県保健環境研究所で微生物検査を実施したサルモネラ属菌株（臨床検体、食品衛生法に基づいて搬入された臨床および食品検体）及び菌株に付帯する疫学情報（年齢、検体採取日、菌株分離日、検体種別）を本研究で利用します。情報は匿名化（特定の個人を容易に識別できない）して利用します。

【研究組織】

国立感染症研究所・病原体ゲノム解析研究センター

国立感染症研究所・感染症危機管理研究センター

岐阜県保健環境研究所

研究代表者： 国立感染症研究所・病原体ゲノム解析研究センター 黒田 誠

【研究への参加辞退をご希望の場合】

本研究に関して新たに対象者の方に行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。協力を拒否される方は令和 2 年 1 1 月 1 7 日までに調査を受けた者は令和 3 年 2 月 1 7 日までに申し出てください。令和 2 年 1 1 月 1 7 日以降に調査を受けた者は調査を受けてから 3 か月以内に申し出てください。期間経過後はデータを確定するため対応できません。なお、本研究は、国立感染症研究所ヒトを対象とする医学研究倫理審査委員会及び岐阜県保健所等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、個人の不利益になることはありませんので、ご安心ください。

【研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反】

研究者、岐阜県及び国立感染症研究所に帰属し、研究対象者には生じません。研究の成果の解釈及び結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

【連絡先】

岐阜県保健環境研究所 保健科学部

氏名：野田 万希子

〒509-0146 岐阜県各務原市那加不動丘 1-1

TEL:058-380-2100

FAX:058-371-5016

E-mail: c22614@pref.gifu.lg.jp

【研究責任者】

岐阜県保健環境研環境研究所 保健科学部

氏名：亀山 芳彦

【研究代表者】

国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター

氏名：黒田 誠